

大すき！ わたしのこうえん！

4月、1年生の時に学校の中や通学路を何度も探検してきた子どもたちから、「学校の外をもっと探検したい」「新しい発見がまたありそう」という話が出ました。その中でも特に、「〇〇公園でいつも遊ぶよ」「△△公園って遊具がたくさんあって楽しいよ」と、自分の好きな公園について、話題がたくさんあがりました。しかし、一方で、「その公園どこにあるの？」「行ったことない」と話す子もいました。身近なところに、まだあまりよく知らない、けれども楽しそうな場所があることに気付いた子どもたちからは、「クラスのみんなで行こう」「どんなものがあのか探検してみよう」という意見があがり、公園探検に出かけることになりました。



学校に一番近い公園では、遊具を使ったゲームを考えて遊んだり、「不思議な実」を集めたりしました。2つ目、3つ目と、それぞれの公園で遊びを工夫し、公園を楽しんでいた子どもたちでしたが、公園を利用する小さい子たちとのかかわりを通して、「自分たちの遊び方って危ないかもしれない」「他の人も楽しくないと」と思うようになっていきました。6月、7月と繰り返し公園に行くことで、「また来てねって言われたよ」「小さい子ともっと遊びたいな」と公園を利用する他の人たちにも目を向けるようになってきました。

「段ボールで電車を作って持って行こうかな」など、公園に来る他の人たちと一緒に公園を楽しみたいという思いで活動を続けています。